

事務事業名		コード	40700	青年の家管理費	予算科目	会計	款	項	目	担当班	社会教育施設班
施策体系	基本施策	12		生涯学習の充実	根拠法令	旭市青年の家の設置及び管理に関する条例、同条例施行規則	10	4	5	事業種別	☒ 主な事業
	施策の展開	24		生涯学習関連施設の充実	戦略事業	125 各施設の整備充実					☐ 国土強靱化地域計画
	施策の展開				戦略事業						☐ 新市建設計画
											☐ 定住自立圏構想
											☐ 主要事業

(1) 事務事業の概要

① 事務事業の期間		② 事務事業の内容 ※何をどのようにする事務事業なのか、市民が理解できるよう記述する、行政用語は使わない							
☒ 単年度繰返	☒ 昭和 47 年度～	条例上は青少年健全育成のための施設だが、実情は生涯学習の中核的な施設として、教育文化の向上及び団体生活を通じての健全な育成を図ることを中心に施設を使用している。開館時間は午前9時～午後9時までで、休館日は毎週月曜日（月曜日が祝休日の場合は、その翌日）と祝休日、並びに年末年始となっている。登録団体としてはダンス・柔道・大正琴等の20団体が活動を行っている。また、築40年を経過した施設であるため、施設の運営に関して、修繕等の維持管理が負担増となっている。							
	☐ 開始年度不詳								
	☐ 期間限定複数年度 平成 年度～ 平成 年度まで								
③ 事務事業開始の経緯・事務事業の現状				④ 事務事業に関する課題・環境の変化				⑤ 事務事業に対する住民からの意見等	
常に新しい知識や技術の習得に取り組み、自らの生活を充実させるような学習機会を、青少年等に提供することを目的に開始した。				築40年を経過した施設であり、耐用年数を過ぎて使用している。その為、青年の家を廃止する話も出ている。そのような状況の中で、現在の利用者が安心して施設を使用するよう必要な維持・修繕を行っていく必要がある。				登録団体から、今後の青年の家について廃止の方向とこのとだが、サークル活動を引き続き行いたいので活動場所の確保等の考慮をしてほしいとの意見が出ている。	

(2) コスト・特定財源の状況

① 事業費の詳細(30年度の決算)		単位:千円	単位	27年度(決算)	28年度(決算)	29年度(決算)	30年度(決算)	31年度(予算)
1.臨時雇賃金	2,115	臨時雇賃金、労災等保険料	千円	1,902	1,950	2,060	2,115	2,341
2.需用費	2,100	消耗品費、燃料費、光熱水費、修繕料	千円	2,676	2,970	2,071	2,100	2,217
3.役務費	362	通信運搬費、手数料、保険料	千円	379	377	364	362	378
4.委託費	2,096	受付業務委託、警備委託、清掃委託等	千円	2,288	2,321	2,219	2,096	2,400
5.その他	1,214	事務機器賃借料、備品購入費	千円	102	46	41	1,214	42
② 特定財源の内訳(30年度の決算)		単位:千円	事業費計 (A)					
1.国庫支出金	0		千円	7,347	7,664	6,755	7,887	7,378
2.都道府県支出金	0		千円					
3.地方債	0		千円					
4.その他	886	青年の家使用料、光熱水費等利用者負担分	千円	1,020	915	825	886	552
			千円	6,327	6,749	5,930	7,001	6,826

前年度増減理由	陶芸窯の購入
---------	--------

従事職員数 常時 1 人 最大 人 × 日 = 延べ 0 人

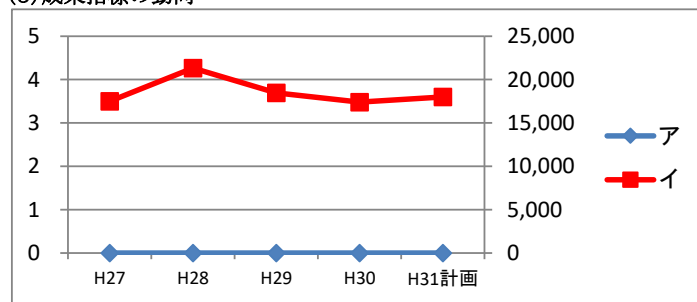
(3) 事務事業の手段・目的と対応する指標

手段	① 主な活動		⇒	③ 活動指標名		単位	27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (実績)	31年度 (計画)
	30年度実績(30年度に行った主な活動)			ア 修繕件数		件	5	7	6	2	3
	貸館業務 奉仕作業 施設の維持管理			イ 貸館件数		件	1,478	1,324	1,239	1,243	1,300
目的	② 対象・意図(対象がどのような状態になるのか)		⇒	④ 成果指標名		単位	27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (実績)	31年度 (計画)
	対象	・市民 ・登録団体		ア 施設に関する苦情件数		件	0	0	0	0	0
	意図	・安全に利用できる状態にする		イ 延べ利用者数		人	17,504	21,328	18,478	17,405	18,000
	対象										
	意図										

(4) 事務事業優先度評価の結果

① 成果優先度評価結果		成果向上余地		
施策貢献度	大きい	かなりある	ある程度ある	ほとんどない
	普通			
	小さい			⑨
② コスト削減優先度評価結果		コスト比率		
評価結果	①	下位 1/3	中位 1/3	上位 1/3
	②			
	③			
	④⑤			
成果優先度	⑥			
	⑦⑧			
	⑨	(7)		

(5) 成果指標の動向



(6) 事務事業に関する評価

評価内容	① 進捗状況	☐完了☐順調☐概ね順調☒停滞☐実施困難										
	【コメント】 (停滞・未実施・実施困難の場合、その理由)	登録団体の高齢化が進み団体数も毎年減少している。利用者も減少して将来増加する見込みが無い。										
	② 成果の状況	成果指標ア	成果指標イ	成果指標のタイプ	数値減＝成果向上 数値増＝成果向上	☐向上☒横ばい☐低下	比較	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
	【コメント】 (低下の場合、その理由)	施設の老朽化が進み、利用に不便な状況。				ア		0	0	0	0	0
	③ 今年度取組事項 (31年度に取り組む主な事項について記載)	時期	内容			今後の方向性	☐拡大☐縮小	☐現状維持☒廃止・休止	☐見直し☐その他()			
	令和元年度中	施設機能移転等の検討を行っていく。			令和元年度中	施設移転等の検討を行っていく。						